

「選ばれるまち」須賀川市へ

企画財政課 ☎(88)9111

市では、平成30年度からスタートした第8次総合計画「市まちづくりビジョン2018」や「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに基づいて、市民満足度を一層向上させることにより、住む人、働く人、育てる人など、あらゆる人に「選ばれるまち」になることを目指しています。今月号では、平成30年度の主要な施策の進捗状況について紹介します。

政策 1 いきいきと人が輝くまちづくり

幼児教育・保育の充実

5歳児保育料、授業料を無償とし、小学校就学前の全ての児童が等しく幼児教育を受けられる環境整備を行うなど、幼小中一貫教育を推進し、幼児期の教育・保育の充実に取り組んでいます。



稲田幼稚園豆まき(2月1日)

多様な子育てニーズへの対応

子どもの健康記録の管理や、子育てに関する情報を収集できる機能を備えた「子育て支援アプリ」の導入や、妊娠期からの子育て相談・支援窓口「子育て世代包括支援センター」を開設するなど、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいます。



9・10か月児健診(平成30年5月11日)

小・中学校、保育所などのトイレ洋式化

小・中学校、保育所、こども園、幼稚園、児童クラブのトイレ改修工事を進め、子どもたちが快適に過ごせる環境整備に取り組んでいます。

政策 2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり

安定した地域医療体制の確保

公立岩瀬病院の運営支援を行い、「安心して子どもを産み育てられる医療環境づくり」など、安定した地域医療体制の確保に取り組んでいます。



公立岩瀬病院での生後1か月健診(平成30年6月8日)

地域包括ケアシステムの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「在宅医療・介護連携拠点センター」を設置するなど、高齢者や家族介護者をはじめ、医療や介護関係者などの相談支援体制の充実に努めています。



在宅医療・介護連携拠点センター開所式(平成30年7月19日)

政策 3 安全に安心して暮らせるまちづくり

地域コミュニティ活動の推進

「ふるさとづくり支援事業」や集会施設の整備支援をはじめ、地域の課題解決のための相談支援を行い、地域力の向上に取り組んでいます。



中宿地区ボランティア植花事業(平成30年6月16日)

交通安全施設整備事業

安全で円滑な交通環境を整備するため、岡東町地内の市道I-16号線(須賀川駅インター線)に右折レーンを設ける交差点改良工事を進めています。

政策 4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

道路環境の整備

小中地内の市道I-38号線の道路整備は、3月末の完了に向けて工事を進めています。

須賀川駅西地区の整備

JR須賀川駅の東西を結ぶ自由連絡通路や、地区内の東西幹線道路整備を行い、良好なまちづくりを進めています。



多くの人でにぎわう1階tette通り(1月11日)

政策 5 活力とにぎわいあふれるまちづくり

企業誘致の推進

市独自の企業立地セミナーの開催をはじめ、企業訪問や県内外の産業展示会で、本市の立地環境の優位性や利便性、全国トップクラスの企業立地支援制度をアピールするなど、企業誘致に取り組んでいます。

水田フル活用の推進

米価の安定と農業所得の向上を図るため、加工用米や転作作物などに対する助成を継続するとともに、多収性品種の飼料用米については助成を拡充し、水田フル活用と農業経営の安定確保に取り組んでいます。



岩瀬地区の田植え(平成30年5月24日)

観光振興と交流促進

体験型交流推進事業として、首都圏の居住者を対象としたモニターツアーを行い、農作業などでの体験や交流を通じて市の魅力を発信し、交流人口の拡大に努めています。



モニターツアーでのそば打ち体験(2月9日)

その他の主な事業

市民交流センター tette オープン

1月11日にオープンし、図書館などの生涯学習機能やこどもセンター、円谷英二ミュージアムなど多くの機能を有する複合施設として、市民交流やまちなかのにぎわい創出などに取り組んでいます。

原子力災害対策

学校などからの除去土壌等の搬出は、30年度で全て完了します。住宅地などからは、長沼地域・岩瀬地域・仁井田地区から、これまで約4万5千㎡の搬出を行っています。



学校などの除去土壌等を搬出(長沼中学校・2月14日)